気象災害対策 No.8

平成２９年６月３０日

茨城県農業総合センター専門技術指導員室

ナシ生育状況および今後の高温・少雨対策について

○　ナシ生育状況

- ナシ「幸水」等の果実肥大は，毎年同じ地点で行っている調査では現在のところ平年並みです（下記の表参照）。
- ただし，平年より今年は５～６月の降水量が少ないこと（次ページの図２）が果実肥大に影響するのではないかとの声も聞かれます。
- 「幸水」の露地栽培では７月上中旬にかけて果実肥大が最盛期を迎えることから，今後の気象状況や生育状況の変化を注視して次ページを参考に随時対策を行いましょう。

表　ナシ「幸水」の果実肥大状況

作型	調査地点	年	満開日（月日）	調査日（月日）	果実横径（mm）	満開後日数
幸水（ジベレリン処理）	下妻市	本年	4月19日	6月29日	57.4	満開後70日
		前年	4月18日		59.4	
		平年	4月19日		53.6	
		平年比			107	
	八千代町	本年	4月19日	6月27日	57.8	満開後70日
		前年	4月18日		56.9	
		平年	4月19日		53.7	
		平年比			108	
幸水	筑西市	本年	4月19日	6月26日	44.8	満開後70日
		前年	4月18日		47.7	
		平年	4月19日		42.5	
		平年比			105	
	笠間市【園研】	本年	4月24日	6月23日	41.5	満開後60日
		前年	4月18日		39.4	
		平年	4月21日		40.1	
		平年比			103	

○　気象の推移

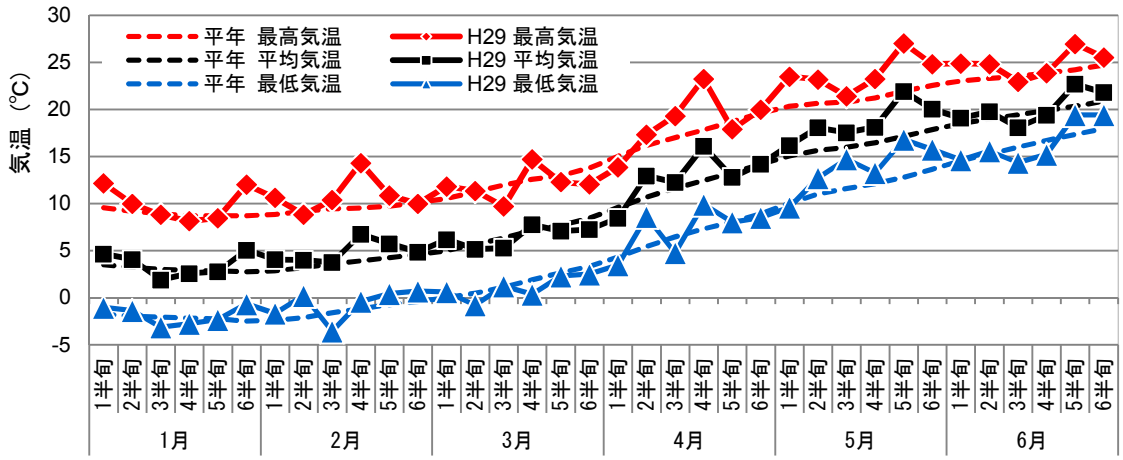


図１　気温の推移（水戸アメダスデータ）

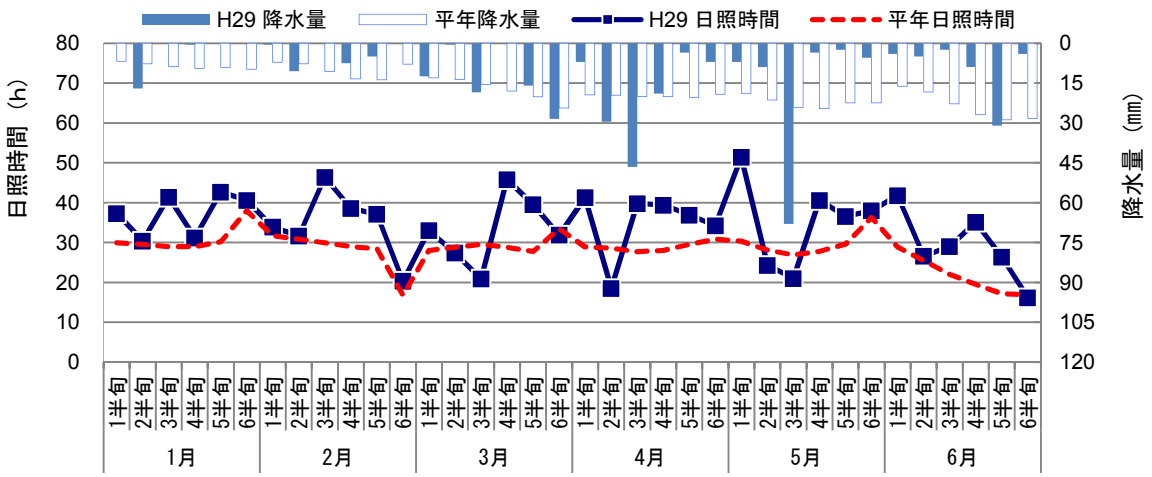
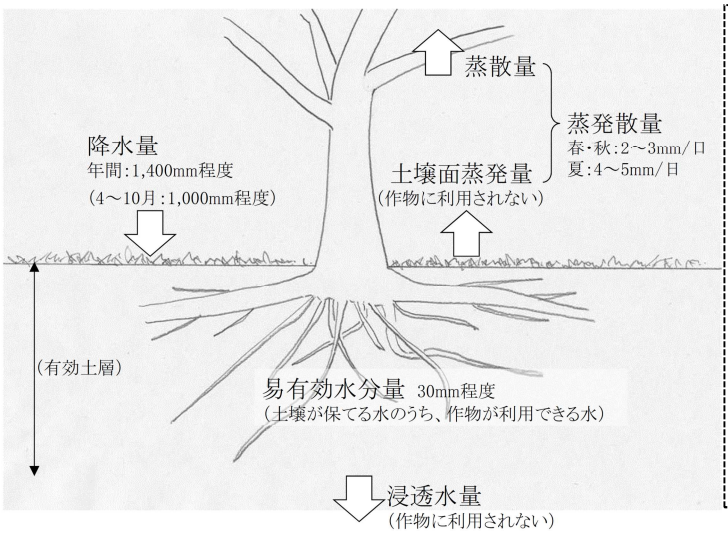


図２　日照時間・降水量の推移　（水戸アメダスデータ）

- 気温および日照時間は，平年より高くナシの生育には好適な条件でした（図１，２）。
- 降水量の合計は平年より少ないが，現在のところ極端な干ばつの被害はありません（図２）。
- ただし，異常天候早期警戒情報（気象庁，６月２６日）が発表され，<u>７月１日頃から７日間平均気温がかなり高くなる場合がある</u>とされています。
- 今後，高温・少雨が続く場合は，次のような対策を行って下さい。

○　果樹類の高温・少雨対策

- 樹の元に稲ワラ等有機物を敷くこと（マルチング）で，土壌の水分を適度に保ちましょう。
  特に，若木では生育の安定にとても有効なので必ず行いましょう。
- 高温が続き４～５日降雨がなければ，かん水を行いましょう（図３）。
  かん水は高品質な果実の安定生産に不可欠，水源およびかん水器具は常備しましょう。
- 高温乾燥によりハダニ，アザミウマなど害虫の発生が懸念されるので，早期防除に努めましょう。



土壌が保てる水のうち，作物が利用できる水（易有効水分量）は３０㎜程度とされ，土壌面の蒸発量と植物体の蒸散量は，季節により異なりますが２～５㎜／日とされています。

特に，蒸発散量の多い夏季には，易有効水分量が３０㎜，蒸発散量が５㎜／日とした場合，最悪で６日間降雨がないと干ばつを被る可能性があります。夏季に４～５日程度雨が降らなければ適切にかん水を行いましょう。

図３　果樹園における水の出入り（藤田原図）